

168号、2003年12月

教育を語る県民の集い

フリーターの増加！若者の勤労観、就労感をどう育てるか？ 多角的な視点で問題点探る

連合神奈川は11月27日、横浜市教育会館で『教育を語る県民の集い』を開催。全体で200名が参加し、教育問題について考えた。

集いは第1部にコント集団「ザ・ニューズペーパー」を迎え、笑いで会場を盛り上げた。コントは政治や教育問題をテーマに、笑いの中にもチクリと風刺の効いたもの。小泉首相や石破防衛庁長官に扮し、自衛隊海外派遣問題や教育問題などで当人をこき下ろす様子は痛快。会場は共感と爆笑に包まれた。

白石連合神奈川事務局長の主催者代表あいさつをはさんでの第2部は、柏木連合神奈川副事務局長をコーディネーターにパネルディスカッション。恒川神奈川県経営者協会理事、南神奈川県PTA協議会専務理事、本間神奈川県立高校教諭、鈴木連合神奈川副会長をパネラーに、『フリーターの増加！若者の勤労観、就労感をどう育てるか？』をテーマに話し合いを行った。特に本間教諭からは「開かれた(他の進路への可能性がある)フリーター」と「閉ざされた(他の進路への可能性がない)フリーター」がおり、「よりよい」フリーター生活を送り、「いずれは」フリーター生活から脱却するために、教育改革とともに魅力ある就業生活の構築や生活しやすい社会の構築が大切だと語った。

ディスカッション後には青葉区の小学校教員の方から質問があり、「明るい勤労観・就労感を与えていかなければならないし、日本の「知」のあり方はどうなっているのか。その中でも高等教育に関し外国に比べて財政的な支援が少ない。財政的に豊かな子供たちしか高等教育を受けられなくなるのではないかという不安もある。政策的に解決できないか？」という意見も出た。

青年委員会ふれあい交流行事

家族や仲間とわきあいあい

連合神奈川青年委員会は11月23日(日)、三浦海岸の鈴木農園で、みかん狩りなどふれあい交流行事を行った。118名が参加。

当日は穏やかな天候のもと、参加者は仲間や家族などでみかん狩りを楽しんだ。深緑の葉陰に実るみかんは作柄も良く、おいしい秋の恵みに笑顔がこぼれた。

みかん狩りの後はみんなで力を合わせて餅つき。昼食ではバーベキューに舌つづみを打った。参加者らは組織を越えた交流を深め、秋の一日を楽しんだ。

神奈川シニア連合第12回総会

神奈川シニア連合は11月28日、ワークピア横浜で第12回総会を開催。126名が参加し、新年度方針などを決定した。

総会では1年間の活動経過などが報告されたほか、①組織強化拡大②高齢者運動の地方組織発足への計画立案③独自の政策立案④安心と信頼が行き届く社会保障制度の確立⑤学習・研修会の開催⑥政権交代に向けた各種選挙闘争の6点を柱とした活動方針を決定した。

北方領土返還要求運動神奈川県民会議

第19回北方領土返還要求運動神奈川県民大会

11月28日、神奈川県民ホールで開催。全体で109名(内連合神奈川から49名)が参加した。

大会では北方領土返還要求運動神奈川県民会議綾井事務局長と北方領土返還神奈川促進会岩崎氏がビザなし交流の報告を行った。訪問団は歓迎派と返還運動に反対する団体と両方から

迎えられ、「友好はダー(賛成)、領土はニエツト(拒否)！」の横断幕が張られていたと語った。記念講演では昨年に続き外務省欧州局ロシア課山田課長補佐を迎え、「我が国における北方領土問題の外交姿勢について」と題し、この1年間の領土問題の進展などが語られた。

2面は交通安全キャンペーンのぬりえ(略)